

はなわ 議会だより

2022
No.157

発行/福島県埴町議会
令和4年1月21日



楽しい音楽に体が動き出す!

—楽器演奏会（笹原幼小交流）—

12月定例会

一般会計補正予算などを可決(12月定例会) … P 2 ~ 3
町政を問う(一般質問) … P 4 ~ 12
各委員会開催レポート … P 16 ~ 17



埴町議会ホームページ
QR



埴町議会フェイスブック
QR



埴町議会ツイッター
QR

発行者 埴町議会議長 梶貝寿一
編集 埴町議会広報常任委員会

F0963-5492 福島県白川郡埴町大字埴字大町三丁目21
TEL0247-43-2150 FAX0247-43-2116

URL <http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>
E-mail gikai@town.hanawa.fukushima.jp

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：特定非営利活動法人はなわスポーツクラブ 「ゴルフ教室」
活動場所：棚倉花園ゴルフ練習場
会長：古橋 博(日本体育協会公認スポーツリーダー)
会員：20名 随時募集

基本からラウンドまで「ゴルフ教室」

ゴルフ教室では、初めてゴルフクラブを握る人から、レベルアップを望む人まで楽しくゴルフができるまで1年間を通して毎週月曜日に学習します。また、練習場でできないバンカーショットやパターをゴルフ場に出て練習し、ラウンドしながらルールやマナーも習得します。和気あいあいと楽しい教室です。3月から募集開始いたしますのでゴルフに興味のある方、体を動かしたい方、参加お待ちしております。

活動開始：令和4年4月から
練習日：毎週月曜日(通年)
加入申込：特定非営利活動法人はなわスポーツクラブ
埴町大字埴字桜木町80番地
埴町営体育館内
TEL 0247-57-6589



みんなでゴルフを楽しみましょう

編集後記

明けましておめでとう
ございます。昨年はコ
ロナに全て影響を受けた一
年でした。世界的な環境
問題、紛争、格差、そし
てコロナと、どのような
年になるのか予測がつか
ません。町民の皆さまが
心穏やかに、そして希望
に満ちた年となりますよ
う、ご祈念申し上げます。
今年も広報委員会一
同、より良い議会だより
を発行していきたいと努
力してまいりますのでよ
ろしくお願い致します。
菊地哲也



広報常任委員会

委員長	青砥 與藏
副委員長	菊地 哲也
委員	吉田 明也
委員	七宮 広明
委員	吉宮 廣樹
委員	吉村 守久
委員	鈴木 元久

あなたも議会の 傍聴してみませんか

令和4年3月定例会は
3月8日(火)からの予定です。
場所 役場2階 議場

傍聴時は感染症予防の観点から
マスク着用をお願いします



「埴町振興公社貸付金」「旧すみれ会館購入」などを可決

12月の例会の定例あり

12月定例会は、12月9日(木)から13日(月)までの会期で開催しました。条例関係4件、辺地総合整備計画の変更、補正予算6件が上程され、原案どおり可決となりました。なお、一般質問は8名の議員が登壇し、町政の課題について議論を展開しました。

一般会計1億2,168万円を増額補正

【主な内容】

◆株式会社埴町振興公社経営安定化資金貸付金 5,000万円
町が51%出資している振興公社に対し、経営安定化を図るため貸付を行い業務の円滑な運営を図る。貸付条件は「経営資金に充てること」「限度額は予算の範囲内」「利率は無利子」「償還期間は13年(据置期間は3年)」など。

◆公有財産購入費 59.4万円
競売を行っているが購入者がいない「旧すみれ会館」について、景観および安全確保の観点から町で取得し管理する。

◆子育て世帯への臨時特別給付(先行給付金) 5,700万円
国の経済対策として、18歳以下の児童を養育する世帯へ児童1人当たり5万円の現金給付。財源は全額国庫補助。

※追加給付分の5万円は、12月21日に専決処分を実施。計10万円を現金給付することとなった。



旧すみれ会館 (今後は町で管理)

質疑(公有財産購入費)

Q 旧すみれ会館の解体金額と解体後の考えは。
A 解体は現時点では計画していないが、危険箇所については対応したい。今後、できるだけ負担が少ない方法での解体を考えていく。解体後は、町での有効活用や希望者への処分を検討する。

質疑(株式会社埴町振興公社経営安定化資金貸付金)

Q 振興公社の令和3年4月からの収支状況は。
A 前年対比で4,264万円赤字。
Q 現在の融資額は。資本金・株の保有数は。
A 東邦銀行3,100万円、日本政策金融公庫4,900万円、計8,000万円。現在、1株5万円で2,160株を保有。税理士の指導により、資本金は1億円、800万円は運営資金に充てることとし、平成28年度の株主総会で承認を得ている。
Q 提案に至る経過は。
A 町所有の施設を振興公社へ委託している。湯遊ランドはなわが果たしてきた役割は大きい。町にとって必要な施設であるとの判断。
Q 補助金の性質とは異なる。しっかりと考えていかなければならない。町にとって重要な施設であり、これからは守っていく。今回、資金繰りのための貸付であり、限度額は5,000万円だが3,000万円弱で抑えられると見込んでいる。
Q 返済計画がなくリスクが高い。経営責任の所在不明、返済経営計画などの詳細な説明もなくはなはだ不透明。貸付リスクが高く、返済不履行になった際、町に損害が生じる。貸付を特定の個人・団体に行うのではなく、公平な仕組みづくりが必要。専門の金融機関から貸付を受けるべき。
Q 返済能力があつてはじめて貸付するのは。債務超過の団体へ町が貸付できるのか。
A 株式会社埴町振興公社は、公益性・公共性が高い事業を行う法人であり公の施設のため設置条例も制定している。総務省で、地方公共団体が第三セクターの債務に対して行う損失補償は、将来的にその一部または全部を負担する可能性を有するものであるとしている。

Q 担保物件・保証人は。
A 第三セクターにより、担保・保証人はなし。
Q 返済能力があつてはじめて貸付するのは。債務超過の団体へ町が貸付できるのか。
A 株式会社埴町振興公社は、公益性・公共性が高い事業を行う法人であり公の施設のため設置条例も制定している。総務省で、地方公共団体が第三セクターの債務に対して行う損失補償は、将来的にその一部または全部を負担する可能性を有するものであるとしている。
Q 補助金で交付すべきでは。湯遊ランドはなわの今後について、町・議会お互い真剣に考えるべき。



株式会社埴町振興公社へ運営委託している「湯遊ランドはなわ」

採決結果

議案第72号 令和3年度埴町一般会計補正予算(第3号)	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥興藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
原案可決(賛成11、反対1)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 ※なお議長(割貝寿一)は採決に加わらない

議案第73号	令和3年度埴町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
歳入歳出それぞれ18万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ9億9,140万円とする。生活習慣病保健指導パンフレットなど。		
議案第74号	令和3年度埴町農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)	
歳入歳出それぞれ73万円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ1億1,745万円とする。台宿施設門扉修繕料など。		
議案第75号	令和3年度埴町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	
歳入歳出それぞれ260万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ2億3,864万円とする。公共マス設置工事など。		
議案第76号	令和3年度埴町介護保険特別会計補正予算(第2号)	
歳入歳出それぞれ7,040万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ11億4,276万円とする。介護老人福祉施設負担金など。		
議案第77号	令和3年度上水道事業会計補正予算(第2号)	
令和3年度予算の収益的支出予定額・資本的収入および支出予定額などについて、それぞれ補正するもの。		

議案の審議結果一覧表

議案第67号	福島県特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例の制定
福島県特定事業活動振興計画において風評税制が新設され、これによる固定資産税の課税免除を行う条例の制定。	
議案第68号	埴町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定
東日本大震災復興特別区域法の一部改正に伴う所要の改正。	
議案第69号	埴町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
出産育児一時金の支給額について、産科医療保障制度掛金の引き下げに伴い、加算額を引き下げるとともに基本額を引き上げることにより支給総額を42万円に維持するもの。	
議案第70号	埴町下水道条例の一部を改正する条例の制定
下水道法の一部改正に伴い同法を引用している規程の所要の改正	
議案第71号	埴町辺地総合整備計画の変更
令和3年度実施予定の湯岐辺地に係る事業「湯遊ランド線改良事業」の事業費の変更を行い、辺地対策事業債の対象事業執行に伴う計画変更。	
議案第72号	令和3年度埴町一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ1億2,168万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ10億2,864万円とする。子育て世帯への臨時特別給付(先行給付金)など。	

賛成

業務改善を行い10月・11月は黒字である。振興公社は資産がないため、金融機関は貸付をしない。町が貸付を行い、返済するだけの収益を上げることを振興公社へ認識させる。1〜2年様子を見て、それから最終判断すべき。今までの投下資金を生かせるようにする。
今までの投下資金を生かす
金澤太郎議員

反対

返済計画がなくリスクが高い
吉田克則議員
経営責任の所在不明、返済経営計画などの詳細な説明もなくはなはだ不透明。貸付リスクが高く、返済不履行になった際、町に損害が生じる。貸付を特定の個人・団体に行うのではなく、公平な仕組みづくりが必要。専門の金融機関から貸付を受けるべき。

一般質問

町政を問う

P 5

- 風力発電計画
- こども園
- 上水道

しもじゅうよしと
下重 義人議員

P 6

- 那倉地区工業団地構想
- 小学校の授業方針と取り組み
- 後世に誇れる森を

ななみやひろき
七宮 広樹議員

P 7

- 子ども第三の居場所事業
- 中学校制服等購入費
- 避難指示・避難所の責任者

きくちてつや
菊地 哲也議員

P 8

- 埴町の将来像
- 一昨年の台風19号の災害対応
- 湯遊ランド経営改善

あおとようぞう
青砥 與蔵議員

P 9

- 令和2年度決算等の審査意見
- 役場新庁舎
- コメ生産農家への支援策

よしだかつのり
吉田 克則議員

P 10

- 消防団
- 町道の交通安全対策
- こども園、
小中学校の教育環境

よしむらもりひろ
吉村 守広議員

P 11

- 観光振興策
- 下水道事業
- 農業政策

かなざわたらう
金澤 太郎議員

P 12

- 子ども第三の居場所と
教育関連
- 移住関連
- ネオニコチノイド系農薬
- 西河内塩沢線

よしだひろあき
吉田 広明議員

一般質問とは
議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自身が原稿を作成していただきます。

スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。



質問 那倉、片貝地区に関わる風力発電計画とは

答弁 風車の19基のうち6基が埴町に

質問 風力発電計画提出者のインベナジー・ジヤパン合同会社とは。

答弁 アメリカのインベナジー社が出資をして、茨城、埴ウインド合同会社を立ち上げ、資本金1千万円の風力発電会社である。

質問 事業内容および町にとっての利点性はあるのか。

答弁 風力発電施設は福島県と茨城県界に建設、風車は全部で19基うち6基が埴町に建設される予定。建設場所はいずれも大字片貝字長久木地内の国有林で、建設に向けて林野庁と協議手続き中とのことである。本事業は、総事業費約250億円で

工事車両は福島県側から入る計画なので、資材調達等が地元からとなれば経済効果が大きいと考えられる、また固定資産税は約10年で実質6千万円強を見込んでいます。

質問 風力発電事業の着工予定と完了予定は。

答弁 事業着工予定は令和5年9月見込み、工事完了は令和9年3月、4月発電開始の見込みである。

はなわこども園 その後の待機児童は
現在1名が待機児童に

質問 こども園は開園から1年半が経過したが、その後、待機児童解消に至ったのか。

答弁 保育士不足により受け入れることができなかったため、現在1名が待機児童になっている。

質問 認定こども園に移行するための検討は。

答弁 現段階では考えていないが、運営上認定こども園の方が良いとすれば移行を検討したいと考えている。

質問 この時季、園児・保護者等が降園する際に、駐車場から園内通路付近が暗いと思われるので改善の余地は。

答弁 子育て支援施設付近には室内照明しかない。今後、設置位置・照度等を検討し対応したい。

質問 外部からの侵入者等の対策は。

答弁 現在、こども園には防犯カメラが5箇所設置されている。また、開園中は園児・保護者・来客が出入りする軒下、通路入口は常時施錠して対応している。



「風力発電事業」大いに期待したいものです



上水道使用料金の今後の考えは
経済回復後に適正料金に

質問 上水道の経営は現在、一般会計より補助金で補っている状況であるが、今後の考えは。

答弁 水道事業経営戦略に基づいた適正料金を、コロナ禍からの経済回復後に導入する考えである。



ななみや ひろき 七宮 広樹議員

今日は未来の第一歩！
夢と希望を！

那倉地区に工業団地の考えは

将来に向けて明るい目標

質問 塙町から一番近い高速道路のインターチェンジは、「白河」ではなく「いわき勿来」に変わりつつある。今、国道289号線・鮫川工区の道路改良工事が進められ、八幡から「いわき勿来」インターまでの所要時間が、30分ほどと聞く。今後、塙工区の道路改良が進むことを考え、「いわき勿来IC」に目を向け、那倉地区に大規模工業団地



国道 289 号線の案内標識

や物流基地を掲げるべきで
答弁 将来に向けて明るい目標になると思う。工業団地だけでなく、都市部の被災時の緊急避難所として検討できればと思う。
質問 企業は南海トラフ地震や首都直下地震、気候変動による自然災害に備え、空港や港と都市を結ぶアクセス道を持つ、安定した地盤と自然豊かな環境を求めている。塙町の発展を見据え、塙町ならではの立地を生かした夢ビジョンの考えは。
答弁 自然災害に強い町として各施策の強化を進め、構想の1つとして災害時の一時避難所として、その後企業進出につなげる考え方もあるのではないかと。

一般質問

後世に誇れる森を

森林認証制度取得を目指す

質問 持続可能な森林の利用と保護を図る「森林認証制度」を活用し、町有林一帯の立木の価値を高め、ブランド化を進める考えは。
答弁 町有林においてモデル的・先駆的にも森林認証取得に努めていきたい。

質問 町有林を「森林セラピー基地」の認定を受け、町民の健康と新たな観光開発の考えは。
答弁 ささまざまな展開が考えられ、塙町にとって大変有効な町づくりの一端と捉えていく。

森林認証制度とは
適正に管理された森林から産出した木材などに認証マークを付けることにより、持続可能な森林の利用と保護を図ろうとする制度。

森林セラピー基地とは
科学的エビデンスを持ち、予防医学的效果を目指す森林浴が行える場所、森林やウォーキングロードを持つ地域が認定される。

小学校の授業方針と取り組みは効果的に外部人材を活用している

質問 笹原小学校では、出前講座や有識者の講演などさまざまな取り組みが行われているが、塙小学校は取り組みが少ないように感じるが、両校の授業方針は。
答弁 両校ともに社会に開かれた教育課程の実現に向けて、効果的に外部人材を活用している。
質問 小学校でも、外国語教育やプログラミング教育が行われているが、状況や課題と成果は。
答弁 生の英語に触れたり会話をしたりする活動と、ブリティッシュヒルズでの英語体験学習など、外国語教育の充実を図っている。またプログラミング教育では、総合的学習の時間と算数や理科の授業で学習している。

質問

子ども第三の居場所運営の財源確保は

答弁

足りない分は今後、検討していく

質問 子ども第三の居場所事業の現状は。
答弁 町内の空き店舗で開設する予定だったが、改修工事が予定額を大きく上回り、新たな場所を検討している。令和5年度運営開始を目指す。

質問 どのような施設とするのか。
答弁 子どもは無料でし、学習、食事、交流を目的として誰でも自由に利用できるようにしたい。

質問 B & G財団から運営費として年間約1,000万円が3年後の運営費は。
答弁 国県の補助金、基金を活用していく。足りない財源については今後、検討していく。

質問 新しい場所は決まっているのか。
答弁 退職した先生や夏休み等帰省してくる学生など多様に考えている。

質問 子ども第三の居場所は貧困対策なのか、それとも子育て支援なのか。
答弁 当初は子どもの貧困対策だったが、塙町の子どもをみんなで見守り育てていくということを基に、子供たちと高齢者との交流の場など多様に考えていく。



きくち てつや 菊地 哲也議員

子育て支援は
バランスが難しい

中学校制服の助成はしっかりと立案していく

質問 中学校入学時、学校指定制服等に約10万円かかる。町として助成を考えると。

答弁 他町村で行っているところもあり、町づくりの一環、子育て支援としてしっかりと立案していかねばならない。

災害時、各地区との連携は即応できる体制を作っていく

質問 災害時、町対策本部と各地区との連携は。
答弁 町は気象予測、河川水位情報等を総合的に判断し本部を設定する。避難所の設置、維持管理の責任は町となる。しかし、本部ができる前や現場の状況に即応できるように体制を区長さん、消防団とぜひ作っていきたい。



健やかに育ってほしい

一般質問



あおと ようぞう 青砥 與藏議員

事業は全て早めの対策

少子高齢化の中、将来の行政に携わる人員配置は

合理化に取り組み検討していく

質問

答弁

質問 「パソコンを導入することで職員数を減らす」と言ったときがあったが、結果的にほとんど変わらず職員数を減らす必要があると思うが。

答弁 人口比率で職員数を考えることは無理だと思ふ。事務合理化を進め整理する。

質問 将来的に区役員、跡継ぎ、消防団員も不足になると思う。行政の将来の対応策は。

答弁 「高齢者」という言葉は無くなると聞く。「動ける人は働く」時代に入った。時代に即した方針を示していきたい。

一昨年の台風19号の災害対応は

町発注工事は全て終了

質問 工事計画が終了していない事業は。

答弁 町発注工事は全て終了している。県発注工事の中で、12月末までに終了と聞いている。

質問 川上川（馬場地内）、久慈川（塙小学校脇）の河川内堆積物除去工事の見通しは。

答弁 2件のほか稲沢川・赤坂川・西川が予定しているが、県の工事なので確定はできないが、来年の梅雨入り前に終了予定と考える。久慈川は継続して工事予定。

質問 ビル川水路の流末形状の改善計画・河川内立木の除去計画は。

答弁 現在工事中に合わせて改善していただけるものと考えている。

質問 緊急避難場所について改善計画は。

答弁 現在17箇所の避難場所があるが、令和4年までに見直し作成中である。

公共交通空白地区の対策は

小規模需要対応交通導入に向けた実証運行を検討

質問 令和4年度から行うコミュニケーションバス実証実験の予算を増やして、早急に事業検討を期待しているが。

答弁 運行効率化を目指すとして、関係機関と協議している。利用者の家まで行ける事業を考えている。



上空から見た米山橋と久慈川

湯遊ランドはなわ経営改善計画の内容は改善できる部分を着手している

質問 (株)旅館マネージメントサポートが行った事業分析および実態調査で、改革ができた項目、できていない項目は。

答弁 ネット予約・売上原価率・人件費について強化を行った。改善が見えてきた。

質問 将来の湯遊ランド存続を判断するときがあると思うが。

答弁 10月・11月は黒字経営になると思う。施設があることでの相乗効果も評価してもらいたい。

質問

決算状況審査意見は

答弁

行政運営の大きな指針

質問 令和2年度一般会計決算および基金運用状況審査意見は。

答弁 (代表監査委員) 審査意見として、不用額の早期把握による財源の効率配分を追及。町債の状況は有利な起債と適切な残高管理により将来負担の軽減を。

質問 町長として審査意見をどのように捉えているのか。今後の対応は。

答弁 審査意見は行政運営を進める上での大きな指針

質問 令和2年度一般会計決算および基金運用状況審査意見は。

答弁 重要なものと捉えている。不用額については執行に対する見積額の精査を行い、真に必要な予算の確保に努める。町債については町税以外の財源として地方交付税および起債に依存しているのが現状。地方交付税に算入される有利な過疎債、へん地債等を選び町の事業を進めている。

役場新庁舎建設問題は

庁舎状況財源を考慮

質問 役場新庁舎建設問題、町長は役場新庁舎建設を短い時間で決めているが。

答弁 役場庁舎の建て替えについては短い期間で決めた経緯がある。現在の庁舎状況、財源を考慮し皆さんから意見をいただき、職員の情報収集等も後押しとなり判断した。

質問 短期間に決断している。計画性がないが。

答弁 当初は振興計画の中で設備改修をメインとした計画をしていた。改修ではなく市町村役場機能緊急保全事業で建て替えを決定した。

質問 役場新庁舎の基本設計・実施設計の概要説明は議員にはあったものの、町民に丁寧な説明をする責任があると思うが。

答弁 広報はなわ・ホームページ・回覧板ニュース紙ベースの周知。コロナの状況で人を集めて話を持つ機会が難しい、状況を見ながら理解を広めていく。

米価急落農家への支援は

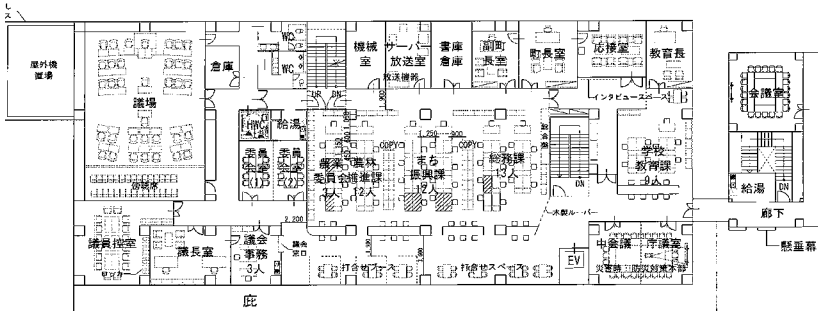
種子代金の補助を

質問 米価急落を受けて、町独自の生産農家への支援策が必要かと思うが。



よしだ かつのり 吉田 克則議員

新型コロナウイルス感染や米価急落で苦しんでいる。役場新庁舎は必要か疑問!!



役場庁舎建設基本設計・実施設計の2階平面図 (イメージ)



かなざわ たるう 議員
金澤 太郎

観光資源を有効に！



高齢化の中での農業振興策は

農作業省力化支援事業を準備している

質問 高齢化の中、農作業支援などの農業振興策の考え方を伺う。

答弁 来年度に向け、農作業省力化支援事業を予定している。また、農作業支援要員の確保等については、農業者の求める支援を掘り下げていく。

質問 農業共済の収入保険への助成の考えはあるか伺う。

答弁 県からも要件があった。加入要件に青色申告があり、加入者数が少なく、要件緩和を要請している。郡内町村と足並みをそろえられるよう協議をしている段階である。

その他

質問 こども園職員の確保について、教育部門以外に教育関係者の必要な業務分掌を割り当てる組織改編で、人事交流等を図ることはできないか伺う。

答弁 元々の雇用条件にないため難しい。ただし、今後新規雇用については教育部門以外での研修等を条件に含め、人事交流を図れる体制を図りたい。



埴町の下水道マンホール

質問

各地の花木整備をどう生かすか

答弁 花写真コンクールを拡大し、多数の来訪者を呼び込む

質問 自転車を活用した観光振興策の全体像を伺う。

答弁 サイクリング事業を中心に、湯遊ランドには酸素ボックスをはじめとした健康増進設備を完備しており、健康増進のための宿泊滞在型観光誘客につなげていく。また、町内では里山景観づくりが10団体以上で盛んであり、サイクリングと景観を合わせる等、複合的に観光振興を図っていく。

質問 町内宿泊施設への誘客のためのバスを走らせる考えがあるか伺う。

答弁 さまざまな許認可の関係があるが、まずは連携協定のある首都圏自治体を起点としたバスの定期運航については検討している。

質問

消防庁長官通知に対する対応の進捗状況は



よしむら もりひろ 議員
吉村 守広

備えあれば、憂いなし

答弁

3月の議会に向け4町村で協議中

質問 消防団員数を確保する目的の消防庁長官通知は、3月末日までに条例を改正し、4月1日から施行予定だが現在の進捗状況は。

答弁 郡内の担当課長が2度協議し、足並みをそろえて実施することとで合意し、団員報酬や出動報酬等については現在も検討中。

質問 報酬等の団員本人への直接支給は。

答弁 災害時の出勤人員を正確に把握し、個人へは口座振替。



こども園付近の道路

②ハンブとは
交通安全対策、車両の速度抑制のために設置したコブ状のもの。

町道の交通安全対策は注意喚起の標識を設置

質問 大町地内の交差点では、今年3件の事故があり、大変危険なので交通安全対策が必要では。

答弁 12月9日に、町独自の標識を設置済み。今後も交通安全の啓蒙活動を続けて、他の危険箇所にも標識を設置する。

質問 栄町からこども園への町道は、交通安全対策のためカラー舗装や路側線等が引かれて通行しやすくなったが、さらなる対策は。

答弁 スクールゾーン中心に生活道路対策エリアとして指定し、ハンブや一方通行等検討中。

一般質問



埴小學校に設置してある防犯標語「いかのおすし」

こども園、小中学校の教育環境は電子黒板を12台購入、2名の外国人教師を配置

質問 GIGAスクール構想により、子ども1人1台のタブレットが渡り、電子黒板が購入されたが、その詳細は。

答弁 埴小學校へ6台、笹原小學校へ3台、埴中学校へ3台、大きさは70型、性能はタブレットと連動し、専用ペンで書くことができ保存も可能。データの共有ができ、子どもたちのタブレットも映せる。

質問 児童、生徒の英語発音や国際理解の教育向上を目的として配置され、生きた英語を子どもたちに伝える外国人教師の実情は。

答弁 (株) インターラックと委託契約し、2名のジャマイカ人教師が派遣されている。1名は中学校で英語の授業で発音等の補助、もう1名は小学校やこども園、笹原幼稚園で英語専課の先生と授業の補助をしている。

一般質問

ひとことインタビュー

令和3年12月定例会の傍聴者へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



よしだ いずみ 吉田 泉さん (川上)

議会に関心を持つことが、町をよくするための第一歩

―傍聴した感想は―
来年度、行政区長になるにあたり、町政についての勉強のため傍聴しました。

―傍聴したきっかけは―
来年度、行政区長になるにあたり、町政についての勉強のため傍聴しました。

―議会に対する意見や要望―
議会は、町民に議会報の発行やインターネットを活用した一般質問等の様子を後日放映することで、理解醸成を促しているとは思いますが、スピード感が求められている現代にあつては、もう一歩進めてDX（デジタルトランスフォーメーション）時代に相応しい、議会の生中継（LIVE配信）の実現に向けても取り組んでいただきたいと思っています。

―町に対する意見や要望―
人口減少が進み少子高齢化する中、広範囲で、かつ中山間地が多く、地理的にも大変苦勞が多い埴町にあつて、町長をはじめとした職員の皆さんには、日々諸課題に取り組んでいただいていることに深く感謝しています。

また、令和元年台風19号の災害の際や、新型コロナウイルス感染症対策の対応等では、力強さも感じていきます。国をはじめとして、県、地方自治体の運営は、今後厳しい状況になると予想されています。

そのような状況の中、職員の方々に健康に留意され、地域のリーダーとして活躍されることを、ますます期待しています。



質問

子どもの第三の居場所で、学習支援体制と子ども農場整備は

答弁

子どもたちの自立に向けて検討したい



よしだ ひろあき 吉田 広明議員

こどもの支援は、拾いあげ、こぼさないこと

【質問】 学習の支援や体験などのサポートが必要だと思う。「レゴ・プログラミング・ロボット」なども準備し、英語やプログラミングなどの学習支援が行えると思うが伺う。
【答弁】 十分に検討しながら進めていきたい。
【質問】 子育て支援のネットワークの創設が必要になる。「子ども農場」を整備し、収穫した農産物は、子ども第三の居場所の食料や道の駅で販売するなど、父母も参加する農場整備について伺う。
【答弁】 全国でさまざまな体験活動が報告され



プログラミング教材の活用

ている。収穫の喜びや、地産地消・食育の推進、販売などの体験も含め、子どもたちの自立に向けて検討したい。

プログラミング教育について

「レゴ・プログラミング・スクラッチ」は検討したい

【質問】 「プログラミング教育」の授業は、英語や数学の学力を上げないと成果が出ないとされている。中学校卒業までに、プログラミング言語の理解や制御技術などが身につくのか、先進的教材の「レゴ・プログラミング・スクラッチ」などの整備について伺う。
【答弁】 現在は、レゴ・スクラッチは採用していないが、今後検討していきたい。

【質問】 「レゴ・プログラミング・スクラッチ」とはプログラミングを組み立てながら制御を学ぶ教材。
【答弁】 無償譲渡する土地開発が可能なのか
これからの策で、無償譲渡の土地も考えられる

【質問】 泉崎村の「定住促進用地・無償事業」は全て契約済である。若い子育て世帯に限定した、無償譲渡する土地開発は可能なのか伺う。
【答弁】 今後、無償譲渡の土地も考えられる。町の特性を生かしながら、若い世代にも移り住んでもらいたい。

【質問】 問題になっている「ネオニコチノイド系農薬」の規制強化の情報について伺う。
【答弁】 最近、生態系に及ぼす影響として問題になっている。水溶性で植物の中に残留すると人の脳への影響が懸念され、子どもたちの発達障害、自閉症、多動症に影響していると言われている。カメムシ防除補助事業で、ネオニコ系農薬規制をしていなかった。5事業者のうち、2事業者が使っていたので、来年から規制した方向で実施したい。

ネオニコチノイド系農薬の規制強化は

来年から規制した方向で実施したい

【質問】 「埴町振興計画」の中に、「西河内塩沢線」の令和6年度から「測量」と記載されているが伺う。
【答弁】 北野松岡線の延長で、国道289号線へつなげる、主要な物

振興計画の「西河内塩沢線」の測量とは

常豊と笹原の極を作るための事業である
【質問】 「埴町振興計画」の中に、「西河内塩沢線」の令和6年度から「測量」と記載されているが伺う。
【答弁】 北野松岡線の延長で、国道289号線へつなげる、主要な物

追跡レポート

あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

塙工業高校の存続は 令和元年6月定例会

県教育長が来町し、懇談会において県立高校改革計画は決定であり変えられないとの話だったが。

答弁

奨学金制度を実施したい

大子町および郡内の入学者枠を緩和してもらい2ケタの生徒がほしい。郡内の首長と一体となり、要望書を提出。塙工業高存続のための奨学金制度を実施したい。

その後

存続に力を注ぐ 令和3年6月定例会



県教育委員会の説明によると、今の中学3年生が最後の入学生。令和5年に統合、令和6年に最後の卒業生となり、それまで塙校舎を使用する。1人でも多く学生を入学させ、存続に力を注いでいきたい。

こども園完成後の塙保育園の活用は 平成30年12月定例会

塙保育園は、役場に近く、使い勝手もよく利便性のよい場所なので、塙町のランドデザインの中で方向性や将来を見据えた活用を考えるべきでは。

答弁

解体して更地にする

昭和56年10月以前の建物で、老朽化し耐震診断実施義務施設ではないため、耐震診断および耐震工事を実施していない。また用地は借地もあり、現時点では、建物は解体し地主へ返すことを基本に考えている。

その後

社会福祉法人牧人会へ売却

令和3年4月16日に、社会福祉法人牧人会（はなわ育成園の運営母体）と随意契約により、土地288万2,742円で、建物は無償譲渡で仮契約し、4月22日の臨時会で承認された。今後は、牧人会により社会福祉事業に活用される予定となった。



旧薩摩酒造の土地・建物を売却



11月

臨時会のあらまし

令和3年11月30日に第7回臨時会(会期1日間)が午前10時より開会。町長提出の議案6件の審議を行い、全員賛成により原案可決となりました。

工事請負変更契約

町道川上東河内線(常世北野字八幡地内)改良工事の請負変更契約。令和3年1月8日に議決を経た契約締結について、工事内容の一部に変更(補強土壁工など)が生じたことによる増額変更。

契約金額

【変更前】

69,850,000円

【変更後】

81,413,200円

(11,563,200円の増)

契約の相手方

深谷建設株式会社

代表取締役 深谷佳孝

【質疑】

Q 道路供用(完成)の見通しは。

A 令和4年度完成を目指している。交付金が要望額どおり配分されること

が前提。

財産の処分

板庭の旧薩摩酒造の土地・建物を売り払いにより処分するもの。

処分金額

37,800,000円

相手方

株式会社奥久慈塙蒸留所

代表取締役 神永英保

【質疑】

Q 12月定例会ではなく、なぜ臨時会での提出なのか。

A 大麦を7月に収穫し、その後予冷庫などで保管しているが、すぐに仕込みを開始したいということである。

Q 処分金額は適正なものか。また、板庭地区との話し合い・説明の経過説明を求める。

A 土地価額の判定基準は、地価動向・変動率を調査した内容である。建物は、年数が経つにつれ下がっている。地区との協議については、町も会社と一緒に今後説明をしていく。

Q 処分後の今後の企業との関わりは。

A できる限りの支援をしていきたい。

Q 固定資産税の減免など特別措置の考えは。焼酎について、町としての

A 優遇措置がある場合は情報提供していく。本数に限りがあるが、町内の飲食店で提供できるようにしていきたい。

議案の審議結果一覧表

議案番号	議案内容	審議結果	備考
議案第61号	工事請負変更契約の締結について	道路改良工事の一部変更(町道川上東河内線)	原案可決
議案第62号	財産の処分について	普通財産の土地建物売買契約の締結(旧薩摩酒造)	
議案第63号	塙町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	一般職の任期付職員期末手当年間支給月数の引き下げ(3.30月→3.20月)	
議案第64号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議員期末手当年間支給月数の引き下げ(3.20月→3.10月)	
議案第65号	町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	町長等期末手当年間支給月数の引き下げ(3.30月→3.20月)	
議案第66号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員期末手当年間支給月数の引き下げ(4.40月→4.25月)	

今後の議会・議員活動につなげる 町村議会議員研修会に参加

福島県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が令和3年10月20日(水)、とうほう・みんなの文化センター(福島市)で行われ、全議員が参加しました。

早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏による「住民から信頼される議会になろう!」、ジャーナリストの長谷川幸洋氏による「今後の政局・政治展望」の講演があり、充実した研修となりました。



議会だより モニターさんの声

- 1. 表紙・裏表紙について**
 - 子どもたちがお米作りの過程を体験することによって、お米の大切さを実感し消費拡大につながるとういんですね。季節感あふれる表紙となっていて好感がもてた。
 - 笹原小は児童数が少ないのに、こんなにクラブ会員がいて立派だと思いました。地域の方々が、子どもたちを大切に育てていることがよくわかる。
- 2. 2～6ページ（令和2年度決算内容）**
 - 監査委員の意見で町会計の改善された所やこれからの課題が分かった。
 - 令和2年度決算質疑の決算委員会での主だった項目を一覧表示し、さらに事業実績を写真で表示していることは、内容を把握しやすいしとても良い表現だと思う。
- 3. 7～9ページ（9月定例会のメイン記事）**
 - 何を優先して政策決定することが、町民の最大利益につながるかを考えさせられた。
 - 議案等の審議結果一覧表が、とても分かりやすくまとめられている。

- 前回10月15日発行の議会だより156号に対する議会だよりモニターの声を掲載します。
- 4. 10～17ページ（一般質問関連）**
 - 各議員の質問で、町の取り組んでいる事業や対策などが分かった。
 - 役場庁舎建設について、議員一人一人の意見を聞いてみたい。
 - 質問の中の給食について、箸やスプーンなどは生徒が持参すればいいのでは。献立内容も広がるし、経費削減になるのでは。
 - どれもこれからの埴町の未来への大切な課題。一つ一つ対策を進めて、良い方向へと案を出して行ってほしいと思う。
- 5. 後半ページ**
 - 追跡レポートを読むと、少しずつでも町政が結果を出しているなど感じる。
 - 新しい庁舎について、今後も追って計画状況が知りたい。
- 6. その他ご意見**
 - 「〇〇議員からひとことコーナー」を設けてはどうか。
 - 議会だよりへの注目（若い人たちへの関心）を集める方法が何かないかいつも考えている。



＊今後の議会スケジュール＊

- 令和4年1月27日（木）
全員協議会
一般質問に関する議員研修
全議員（13名）
- 令和4年1月31日（月）
町村議会広報研修会（動画配信の方式に切り替え）
広報常任委員（6名）
- 令和4年2月1日（火）
総務常任委員会所管事務調査
七宮広樹委員長ほか委員（計7名）
- 令和4年2月4日（金）
経済常任委員会所管事務調査
下重義人委員長ほか委員（計6名）

聞かせてください皆さんの声 議会報告会を予定しています

顔が見える開かれた議会を目指し、議会報告会を実施します。議会活動報告や、議会に対する要望や提言などをお聞きし、未来のまちづくりや議会の活性化につなげます。

■日時 令和4年2月11日（金・建国記念の日）
午後1時30分から午後3時まで
■場所 防災センター3階会議室
埴町役場北側

※車でお越しの際は、役場前駐車場をご利用ください。

- テーマ ①新庁舎建設事業について
②湯遊ランドはなわ経営について
③ほかどんなことでも

たくさんのご来場をお待ちしています！



議会活動出欠状況

令和3年10月1日 ～ 令和3年12月31日

年月日	会議名称	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥興藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
3.10.1	広報常任委員会（議会だより編集）	—	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
3.10.7	広報常任委員会（議会だより編集）	—	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
3.10.18	経済常任委員会（所管事務調査）	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	○	—	—
3.10.20	福島県町村議会議長会主催議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.10.22	総務常任委員会（所管事務調査）	○	—	○	—	○	—	○	○	—	○	—	—	○
3.10.27	全員協議会（埴町第六次長期総合計画）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.11.4～5	総務および経済常任委員会合同行政視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.11.30	議会運営委員会（11月臨時会運営）	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○
3.11.30	全員協議会（財産処分に係る経過説明）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.11.30	11月臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.11.30	全員協議会（固定資産税の課税誤りに関する内容）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.11.30	議会運営委員会（12月定例会運営）	—	—	—	—	私用 早退	○	—	○	○	○	—	○	○
3.12.3	予算決算常任委員会（埴町振興計画（実施計画））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.12.3	全員協議会（令和3年度定期監査結果報告（ほか））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.12.9	12月定例会（1日目：議案説明）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.12.10	12月定例会（2日目：一般質問6名）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.12.10	総務常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	—	○
3.12.10	経済常任委員会（閉会中審査内容決定）	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—
3.12.10	広報常任委員会（閉会中審査内容決定）	—	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
3.12.13	12月定例会（最終日：一般質問2名、議案審議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.12.13	全員協議会（新型コロナウイルス感染症対策（ほか））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.12.13	議会運営委員会（12月定例会検証）	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○

○出席 —該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病気・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。

人口問題は避けて通れない道

町政には全く無関心だった私が、議会だよりをじっくり読む機会をいただくことで、町の成り立ちを収支等の数字で捉えることができたことが一番の収穫でした。ですが、それを支えるのが人であるなら、町の未

来にとつて人口問題は避けて通れない道だと思います。

私が帰省した時の人口は1万3千人。いまは8千5百人ほどだとか。議会だよりにより、議員さんたちの町政への真摯な取り組みには頭が下がりますが、埴町の未来の人口問題、雇用問題にも真剣に取り組むことを4人の母としても切に願います。



おおなわ いづみさん
(本町)

理想の町づくりのお手伝いを

モニターを引き受ける前は議会だよりをパラパラと見る程度で、さほど関心を持っていませんでした。モニターの話をいただき、まずは隅から隅まで読んでみることに始めました。今

では、町政を問う一般質問や追跡レポートを読むのが楽しみになっています。

議会だよりは、町民として町政に関心を持つてもらうことのできるツールだと思います。理想の町づくりのお手伝いをモニターとして発信できればうれしく思います。



かなざわ せいじさん
(植田)